

編集後記

新型コロナのため、最近は、自宅待機の日々を過ごしています。オンライン授業のために、動画を初めて作成したり、少人数の場合には zoom で授業をやってみたり試行錯誤の日々です。スライドに音声を追加するだけなら意外となんとかなりましたが、zoom に iPad 画面を表示させようとすると、接続が不安定だったり、学生に画面が一部見えませんと指摘されたり、授業開始の 3 時間前に学生が待っていますと zoom からメールが来たり。iPad を使って少し板書もときも行なっていますが、学生はスクリーンショットを撮るだけかもしれません。こちらでは、オンライン授業はもう少し続きそうですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？研究に関してはデータ解析が主ですので、実験系とは違い、まだなんとかなってはいます。通勤時間や会議が減った分、少し研究が進んだ一方、学生への指導がオンラインのみになり、コミュニケーション不足が生じているのをど

のように解消するかが現在の課題です。学生も論文を読んだり、自宅から研究室の PC にログインして、データ解析を進めたりしているようではありますが。

私は、宇宙の巨大な天体を満たすプラズマからの X 線を観測することにより研究を行なっています。典型的には水素の数密度が $1000 \text{個}/\text{m}^3$ 前後、 $10 \text{個}/\text{m}^3$ の低密度のプラズマの検出まで到達するのが目標です。比較的シンプルなプラズマなのですが、データ解析においてはバックグラウンドとの戦いが続きます。膨大なバックグラウンドの中から、目的とするデータを拾うのはどの分野でも大変だと最近実感しています。

編集委員の任期も残り少なくなりました。プラズマという共通点はあるものの、自分の研究とはかなり違った分野に触れることができ、いろいろ勉強になりました。任期が終わる頃には、完全に元通りとはいかなくても日常生活がある程度戻ってくることを期待しています。(松下恭子)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長	森 雅博		
副 会 長	豊田浩孝 (推薦委員長: 学会賞, 男女共同参画委員長)	竹入康彦 (推薦委員長: 研究助成, 研究部会連絡会委員長)	
常務理事	下妻 隆 (総務委員長)		
理 事	浅野史朗 荒巻光利 大野哲靖 (企業展示検討委員長)	岸本泰明 (年会運営委員長)	
	木戸修一 (財務委員長) 小西哲之 坂本瑞樹 (編集委員長)		
	齊藤輝雄 篠原孝司 神野雅文 (企画委員長)		
	中井光男 長谷川晃 (広報委員長, 支部・地区研究連絡委員長)		
	和田 元 渡邊隆行		
監 事	利根川昭, 中村圭二		

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利 応用 豊田浩孝 核融合プラズマ 大野哲靖 核融合炉工学 小西哲之

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 坂本瑞樹 (筑波大) 副委員長: 荒巻光利 (日大)
エディタ: 酒井 道 (滋賀県立大), 比村治彦 (京都工繊大), 波多野雄治 (富山大), 城崎知至 (広島大), 藤田隆明 (名大), 村上定義 (京大)
編集委員: 浅井朋彦 (日大), 有川安信 (阪大), 池添竜也 (九大), 諫山明彦 (量研), 今寺賢志 (京大), 岩田夏弥 (阪大), 宇佐見俊介 (核融合研), 大塚哲平 (近畿大), 小川大輔 (中部大), 乙部智仁 (量研), 小柳津誠 (量研), 桑原大介 (中部大), 栗田弘史 (豊橋技科大), 小林 真 (核融合研), 齊藤誠紀 (山形大), 齊藤晴彦 (東大), 清水鉄司 (産総研), 高橋和貴 (東北大), 竹田圭吾 (名城大), 田中宏彦 (名大), 辻村 亨 (核融合研), 時谷政行 (核融合研), 松下恭子 (東京理科大), 森田太智 (九大), 安原 亮 (核融合研), 山田大将 (長野高専), 吉田雅史 (山口大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第96巻第 6 号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山 3 丁目 1-1 4 階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2020年 (令和 2年) 6月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: <http://www.jspfor.jp/> 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。